

共に生きる社会を共に創る

— 貧困、不平等、災害にあらがい住み続けられるまちづくり —

2022年12月4日(日) 会場：大阪市中央公会堂 大集会室
午前9時開場

手話通訳
文字通訳
あります

9:30 開会挨拶 村上靖彦 大阪大学大学院人間科学研究科
附属未来共創センター・センター長

9:35 附属未来共創センターの紹介

① 附属未来共創センターの取り組み 木村友美 大阪大学大学院人間科学研究科
附属未来共創センター・講師

② 未来共生イノベーター博士課程プログラム 榎井縁 大阪大学大学院人間科学研究科
附属未来共創センター・特任教授

9:45 ディスカッション ① 貧困・不平等にあらがう

コーディネーター 志水宏吉 大阪大学大学院人間科学研究科・教授

パネリスト

藪中孝太郎 株式会社IC・代表取締役

堀口安奈 株式会社Adelante・代表取締役

岡本工介 一般社団法人 タウンスペースWAKWAK・事務局長

福井康太 大阪大学大学院法学研究科・教授

11:15 ディスカッション ② 住み続けられるまちづくり—大災害の時代に

コーディネーター 石塚裕子 大阪大学大学院人間科学研究科
附属未来共創センター・講師

パネリスト

高原耕平 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構
人と防災未来センター・主任研究員

小田祐士 岩手県野田村役場・村長

高岡伊織 愛媛県西予市野村地域高校生グループ「Nジオチャレ」・代表

稲場圭信 大阪大学大学院人間科学研究科・教授

12:35 指定コメント

金田安史 大阪大学理事・副学長

三成賢次 大阪大学理事・副学長

堂目卓生 大阪大学・社会ソリューションイニシアティブ長

閉会挨拶 澤村信英 大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター・副センター長



開催趣旨

誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて、附属未来共創センターでは、人間科学研究科と市民、NPO・NGO、行政、企業など社会と連携してきました。「共生」を担う人材育成を行う「未来共生イノベーター博士課程プログラム」が10周年、「共創知」の創出のしくみである「大阪大学オムニサイト協定（OOS）」は5周年を迎えました。

本シンポジウムでは、附属未来共創センターが取り組んできた教育、研究、活動の成果と課題を通じて、共に生きる社会を共に創る社会学連携の可能性を討論します。

附属未来共創センター常設展示

12月3日(土)4日(日) 10:00-17:00

場所：地下1階 大会議室

【ポスター展示】

〈OOS協定先〉

- ・大阪トヨタ自動車(株)
- ・ダイハツ工業(株)ダイハツ保健センター
- ・パナソニックホームズ(株)街づくり事業開発部
- ・一般社団法人 地域情報共創センター
- ・一般社団法人 タウンスペースWAKWAK

〈オープンプロジェクト〉

- ・ Ethnography Lab
- ・ 災害ボランティアラボ
- ・ 心理・行動フォーサイトラボ
- ・ 子どもの安全ラボ
- ・ 障害ラボ
- ・ グローバルビレッジ・コミュニティ・プロジェクト(GCP)
- ・ マイノリティ教育ラボ
- ・ 老いと死の研究ラボ
- ・ 地方における人材共創プロジェクト
- ・ 緒方ラボ
- ・ 哲学の実験オープンラボ
- ・ MeWプロジェクト
- ・ 地域の食とプラネタリーヘルス

〈学生プロジェクト〉

【ブース展示】

〈OOS協定先〉

- ・ NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク
- ・ 岩手県野田村役場
- ・ ジャトー(株)
- ・ 愛媛県西予市野村地域自治振興協議会
- ・ 吹田市社会福祉協議会

〈その他〉

- ・ 老いと死の研究ラボ（GONEGOとの共同開発）
- ・ 未来共生プログラム+大阪市教育委員会

参加申し込みはこちらから



会場情報ははこちらから

